

## 東急電鉄と honestbee が地域密着型 シェアリングエコノミー確立に向けて包括業務提携

東京急行電鉄株式会社  
honestbee 株式会社

ホーム・コンビニエンスサービス「東急ベル」を運営する東京急行電鉄株式会社(以下、東急電鉄)は、東急線沿線を中心とする新たなシェアリングエコノミー型(※)事業モデルの確立に向けて、アジア最大級地域密着型のオンライン買物代行コンシェルジュサービスを展開するシンガポール発のベンチャー企業「honestbee 株式会社」(以下、オネストビー)との包括業務提携契約(以下、本提携)を2017年9月1日付で締結します。

「東急ベル」は、東急線沿線を対象として2012年6月にスタートしたホーム・コンビニエンスサービスで、専門スタッフがお客様の自宅へ伺い、ネットスーパーやハウスクリーニング、家事代行など「家ナカ」を便利で快適にするサービスを提供しています。

買い物代行コンシェルジュサービス「honestbee」は、お客様のWebやアプリ上からの注文をスタッフが買物代行し、注文から最短1時間以内にご自宅やオフィスまで届けるサービスです。

本提携では、東急線沿線におけるシェアリングエコノミー型の配送モデル確立に向け「honestbee」のサービスの浸透・拡大施策を展開するほか、東急ベル配送サービスの一部委託を検討します。急拡大する宅配便の人手不足が深刻化する昨今、専業ではなく一般のお客様に登録者を募り、コンシェルジュスタッフを育成することで、人手不足の解消に繋がります。また、2時間という短時間から働けるシステムは、育児や介護など時間制限のある方にとっても隙間時間を利用した働き方を可能にし、地域社会に新たな雇用機会を創出します。

さらに今後、ECの台頭などによる商店街の衰退に対しても、東急ベルが商店街や路面店などを両社のサービス加盟店として開拓を図ることで、地域のもを地域の方が購入し、運ぶ、といった「地域の循環」を作り出し、地域経済を活性化させます。

東急電鉄は、今後オネストビーと連携しシェアリングエコノミー型配送モデルを普及させるなど、地域経済を活性化させることで、「日本一住みたい沿線」を目指します。

包括業務提携の詳細は別紙の通りです。



▲デリバリーBEE イメージ



▲ショッパーBEE イメージ

以上

※『シェアリングエコノミー』: 物、サービス、場所などを、多くの人と共有、交換して利用する社会的な仕組みで、カーシェアリングをはじめとした個人間の貸し借りを仲介するシェアリングサービスが多く登場しています。今後も市場拡大が予想されており、2018年度までの4年間で約2倍の462億円まで拡大すると予測されています(矢野経済研究所調べ)。

## 【別紙】

### 包括業務提携の詳細

#### ■本提携の概要

- ・シンガポール発のオンライン買物代行コンシェルジュサービス「honestbee」の普及を通じ、沿線地域の更なる活性化を目指します(短時間労働機会の提供、地元商店街の活性化など)。
- ・オネストビーの各国におけるシェアリングエコノミー型事業で培ったノウハウを活用し、社会課題へ共同でアプローチします(物流課題、労働力不足、超高齢化社会など)。

#### ■具体的な提携業務

##### 1. オンライン買物代行コンシェルジュサービス「honestbee」の普及

東急線沿線におけるサービス拡大に向け、駅や店舗といった各所拠点における honestbee プロモーション支援の他、加盟店開拓の支援を行います。

##### ●オネストビーの役割

- ・東急ベルの配送業務の一部受託
- ・東急線沿線における買い物代行コンシェルジュスタッフの募集・管理
- ・東急線沿線における集中的なプロモーション

##### ●東急ベルの役割

- ・東急ベルの配送業務の一部委託
- ・サービス加盟店舗の開拓・紹介
- ・東急線沿線におけるプロモーション支援



##### 2. オネストビーのマッチングノウハウを活用した社会課題への共同アプローチ

昨今の社会課題である「物流課題」、「労働力不足」などに対して、両社が持つサービスやノウハウ、データなどを組み合わせ、継続的な沿線地域活性化に取り組みます。まずは以下の3つをテーマに検討を進めます。

##### ○3PL(サード・パーティーロジスティクス)モデルの構築支援

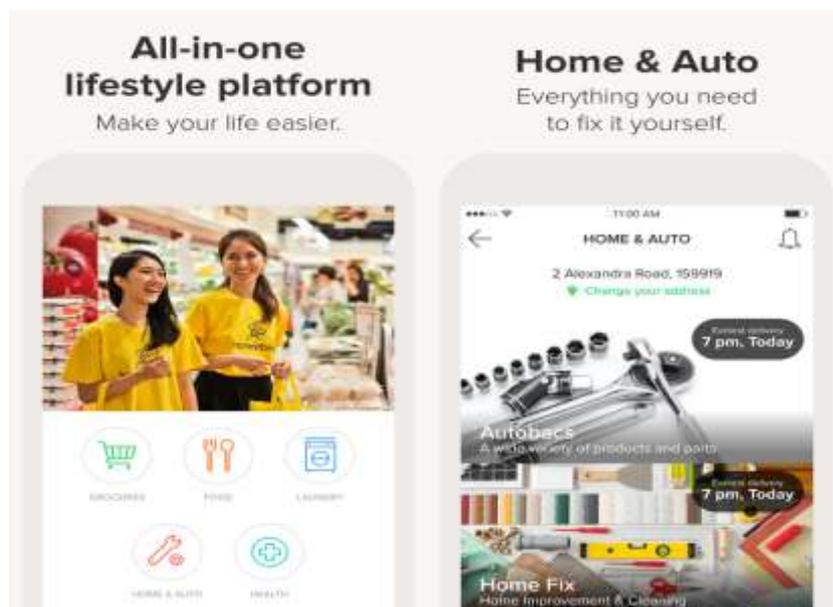
EC 市場の拡大に伴う、人手不足などの物流課題の解決に向けて、将来的には物流企業がアウトソーシング可能な東急線沿線における独自のシェアリングエコノミー型物流網の構築を目指します。また、現在オネストビーが海外で拡大させている「bee ポイント(受取ポイント)」の、東急グループの駅や店舗での展開も並行して検討します。

##### ○研修プログラムの共同開発

オネストビーはサービスのクオリティコントロールのために、お客様による配送スタッフの評価制度を導入していますが、日本でのより高品質なサービス提供に向け、東急ベルが培った接客ノウハウを生かし、日本水準のサービスを教育するプログラムを共同で開発します。

## ○新たなソリューションの共同開発

お客様のニーズに合う幅広いサービスラインナップの拡充を図ります。オネストビーはシンガポール本国において、フード・グロッサリーの配達のほか、「クリーニングサービス」「DIYツールのお届け」など、ニーズに合ったソリューション・サービスを提供しています。このノウハウを東急線沿線でも活用してご提供するサービスを拡充させます。



▲シンガポールで提供されている「honestbee」の幅広いサービス

## ■プレッセ中目黒店における実証実験について

本提携に先立ち、オペレーション面での課題検証を目的とした実証実験を、東急グループの株式会社東急ストア（以下、東急ストア）の協力の下、プレッセ中目黒店にて2017年7月20日から行っています。実験では実際にオネストビーのサイト内で注文された東急ストアの品を、オネストビースタッフが配送していますが、現時点では従来と同レベルのサービスをご提供できています。また、当サイトは英語表記で利用できることもあり、富裕層の外国人利用者が多いため、店舗商圏外での新規顧客獲得にも繋がっています。今後本提携に基づき、東急ストアはプレッセブランドを中心にエリア拡大する予定です。

## ■東急ベルについて

ホーム・コンビニエンスサービス「東急ベル」は、お客様がご自宅にいながらにして、あらゆる商品やサービスを手に入れられることを目指す「究極の小売業態」です。専門スタッフ「ベルキャスト」がお客様のご自宅へ商品やサービスを直接お届けし、「家ナカ」をもっと便利に快適にするためのサービスをお手伝いをします。

## ■honestbee について

地域の商品が地域へ届けられる、地域密着型のオンライン買い物代行サービス。地域の食品店・飲食店とのパートナーシップを通じて顧客の拡大を手助けし、注文受注や配達というインフラ投資の負担を取り除き店舗の売り上げ拡大に貢献します。創業者のジョエル・シングの「地域社会に貢献する」という使命に順じ、フリーランスを時間単位で雇用し、時間制限のある学生や主婦などをはじめとした地域の雇用創出にも貢献します。2時間から働くことのできる環境をアプリ上で提供することにより、サービスの需給バランスを最適化する「シェアリングエコノミー型」事業モデルを実現します。

(1)会社名 honestbee 株式会社

(2)設立年 2015年12月

(3)カンパニーマネージャー サンパス ビベック

(4)所在地 〒106-0031東京都港区西麻布3-23-14 西麻布 STビル

(5)事業概要 アジア最大級のオンライン買い物代行コンシェルジュサービス「honestbee」を運営

(6)URL <https://honestbee.jp>